

耳よいな話 ～コミュニケーションのポイント～

年齢を重ねると「テレビの音が大きいと注意される」「聞き間違いが増えた」など、耳が遠くなったことを指摘されることがあります。今回は、聞こえにくさのある方とのコミュニケーションのポイントをお伝えします。

<加齢による聞こえにくさの特徴>



- 高い音から聞こえにくくなる
体温計などの電子音、ドアのチャイムなどは高い音のため聞き取りにくい
- 快適に聞こえる幅が狭い
小さすぎる音は聞こえず、大きすぎる音は不快に感じやすい
- 自分で気がつきにくい
少しずつ聞こえにくくなるため、家族や周りに言われて気がつくことが多い

<コミュニケーションのポイント>



名前を呼び、注目してから話す
相手の顔をみながら話す



口を大きく動かして
はっきりゆっくりと話す



補聴器の利用も検討



会話のみではなく、
周囲の音も大きくなります
(騒音下では使いにくい)

慣れるまで時間を要する場合があります

その場合には
装用時間を調整しながら
少しずつ慣れていきましょう

現在当事業所では、言語聴覚士の訪問リハビリ利用者を募集しています
コミュニケーションに悩んでいる方や飲み込みにくさのある方がいましたら、
お気軽にご相談下さい

職員紹介



作業療法士

やりみず ことみ
鏡水 思観

出身地：山形県東根市

趣味：買い物、食べ歩き

一言：4月まで宮城県の気仙沼訪問リハビリステーションで勤務していました。

宮古のキレイな海、おいしい魚介類が楽しみです！

笑顔いっぱい元気いっぱいがんばります！

よろしくお願い致します！